



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月30日

上場会社名 因幡電機産業株式会社 上場取引所 東証・大証第1部
 コード番号 9934 URL <http://www.inaba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守谷 承弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 片山 良一 TEL (06) 4391-1781

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	43,809	5.4	2,601	21.5	2,681	20.6	1,606	22.8
19年3月期第1四半期	41,553	12.7	2,140	9.4	2,223	9.9	1,308	9.9
19年3月期	182,693	—	10,019	—	10,129	—	5,788	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	71	82	71	48
19年3月期第1四半期	59	19	58	60
19年3月期	260	77	258	98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	111,121	62,712	56.4	2,800	79
19年3月期第1四半期	104,920	58,391	55.6	2,637	80
19年3月期	115,151	63,415	55.0	2,832	80

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△614	△129	△2,559	11,935
19年3月期第1四半期	1,299	196	△2,190	12,682
19年3月期	4,699	△1,288	△1,548	15,238

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	90,500	2.3	5,300	0.9	5,300	0.1	3,100	1.7	138	55
通期	185,000	1.3	10,100	0.8	10,200	0.7	5,900	1.9	263	69

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
 経済状況・市場環境に係るリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と異なる可能性があります。
 なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

<電気機器事業>

銅価格は5月上旬に史上最高値を更新するなど依然として高値水準にあり、これを主要材料としている電線ケーブル類の販売価格が上昇し、売上高の増加に貢献いたしました。

また、大型施設向けの非常用発電機・電源装置等の販売が堅調に推移いたしました。また、販管費が増加したことにより、連結売上高287億58百万円（前年同期比4.8%増）、連結営業利益2億97百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器業界の今年度の製品出荷見通しは横ばいと予想されるものの、特定顧客への売上高の大幅な減少により、制御機器、電子部品の販売が総じて低調に推移し、連結売上高57億65百万円（前年同期比9.2%減）、連結営業利益92百万円（前年同期比35.3%減）となりました。

<空調配管事業>

主力製品である空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の販売については、前年同期の水準を維持する一方で、銅価格の高騰に対応した被覆銅管の販売価格の上昇により売上高が大幅に増加した結果、連結売上高92億30百万円（前年同期比19.6%増）、連結営業利益22億86百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて33億3百万円減少し、119億35百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、6億14百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上(27億75百万円)や売上債権の減少(22億24百万円)等により増加いたしました。また、法人税等の支払(29億54百万円)や仕入債務の減少(26億4百万円)等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億29百万円となりました。これは主に有価証券の償還による収入(5億円)や有形固定資産の売却による収入(1億36百万円)等により増加いたしました。また、投資有価証券の取得による支出(5億53百万円)や有形固定資産の取得による支出(1億27百万円)等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、25億59百万円となりました。これは主に配当金の支払(25億72百万円)等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、現段階では売上高・利益とも計画値を上回るものの、今後の原材料市況が不透明であるため、平成19年5月18日公表の業績予想から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)		増減	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(資産の部)						
流動資産	71,845	68.5	77,862	70.1	6,017	82,537
現金及び預金	12,682		11,935		△746	15,238
受取手形及び売掛金	48,911		53,827		4,915	56,067
たな卸資産	7,788		8,326		538	7,391
その他	2,464		3,773		1,309	3,840
固定資産	33,075	31.5	33,258	29.9	183	32,614
有形固定資産	20,570	19.6	20,011	18.0	△558	20,159
無形固定資産	412	0.4	407	0.4	△4	415
投資その他の資産	12,092	11.5	12,838	11.5	746	12,039
資産合計	104,920	100.0	111,121	100.0	6,200	115,151
(負債の部)						
流動負債	42,095	40.1	43,695	39.3	1,600	47,230
支払手形及び買掛金	36,670		37,257		587	39,861
その他	5,424		6,438		1,013	7,368
固定負債	4,434	4.2	4,712	4.3	278	4,505
負債合計	46,529	44.3	48,408	43.6	1,879	51,736
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	8,120	7.7	8,120	7.3	—	8,120
資本剰余金	8,328	7.9	8,331	7.5	2	8,328
利益剰余金	48,768	46.5	52,259	47.0	3,490	53,225
自己株式	△8,970	△8.5	△8,299	△7.4	671	△8,310
株主資本合計	56,247	53.6	60,411	54.4	4,164	61,363
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	2,108	2.0	2,254	2.0	145	2,006
繰延ヘッジ損益	△2	△0.0	—	—	2	—
評価・換算差額等合計	2,106	2.0	2,254	2.0	147	2,006
少数株主持分	37	0.1	46	0.0	8	45
純資産合計	58,391	55.7	62,712	56.4	4,321	63,415
負債、純資産合計	104,920	100.0	111,121	100.0	6,200	115,151

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
売上高	41,553	100.0	43,809	100.0	2,255	182,693
売上原価	35,261	84.9	36,860	84.1	1,598	155,851
売上総利益	6,292	15.1	6,949	15.9	657	26,841
販売費及び一般管理費	4,151	9.9	4,347	10.0	196	16,822
営業利益	2,140	5.2	2,601	5.9	460	10,019
営業外収益	350	0.8	386	0.9	36	1,289
営業外費用	267	0.6	306	0.7	39	1,178
経常利益	2,223	5.4	2,681	6.1	457	10,129
特別利益	79	0.2	99	0.2	19	159
固定資産売却益	—	—	88	—	88	10
投資有価証券売却益	70	—	6	—	△64	70
貸倒引当金戻入益	8	—	4	—	△4	78
その他特別利益	—	—	0	—	0	—
特別損失	6	0.1	4	0.0	△1	71
固定資産除売却損	2	—	4	—	1	32
役員退職慰労金	—	—	—	—	—	27
その他特別損失	3	—	—	—	△3	11
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,297	5.5	2,775	6.3	478	10,217
法人税、住民税及び事業税	1,175	2.8	1,303	2.9	127	4,688
法人税等調整額	△188	△0.4	△136	△0.3	52	△267
少数株主利益	1	0.0	2	0.0	0	8
四半期(当期)純利益	1,308	3.1	1,606	3.7	297	5,788

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	2,297	2,775	478	10,217
減価償却費	235	221	△14	1,014
退職給付引当金の増減 額	△4	2	6	△3
売上債権の増減額	1,897	2,224	327	△5,332
たな卸資産の増加額	△1,324	△935	388	△927
仕入債務の増減額	△1,335	△2,604	△1,268	1,855
法人税等の支払額	△1,481	△2,954	△1,473	△3,204
その他	1,015	655	△359	1,078
営業活動によるキャッ シュ・フロー	1,299	△614	△1,914	4,699
II. 投資活動によるキャッ シュ・フロー				
有価証券の償還による 収入	—	500	500	—
有形固定資産の取得に よる支出	△162	△127	34	△537
有形固定資産の売却に よる収入	0	136	136	141
投資有価証券の取得に よる支出	△273	△553	△279	△1,605
投資有価証券の償還に よる収入	—	—	—	700
投資有価証券の売却に よる収入	647	8	△639	148
その他	△15	△92	△76	△136
投資活動によるキャッ シュ・フロー	196	△129	△325	△1,288

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
自己株式の取得による支出	△0	△0	0	△4
ストックオプションの権利行使に伴う自己株式の売却による収入	23	14	△9	664
配当金の支払額	△2,212	△2,572	△359	△2,208
少数株主への配当金の支払額	△0	△0	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,190	△2,559	△369	△1,548
Ⅳ. 現金及び現金同等物の増減額	△694	△3,303	△2,608	1,862
Ⅴ. 現金及び現金同等物期首残高	13,376	15,238	1,862	13,376
Ⅵ. 現金及び現金同等物第1四半期末(期末)残高	12,682	11,935	△746	15,238

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

売上高及び営業損益 (百万円)							
	電気機器事業	産業機器事業	空調配管事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27,444	6,346	7,717	45	41,553	—	41,553
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	71	167	614	64	917	△917	—
計	27,515	6,514	8,331	110	42,471	△917	41,553
営業費用	27,180	6,371	6,579	107	40,239	△826	39,412
営業利益	334	142	1,751	2	2,231	△90	2,140

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

売上高及び営業損益 (百万円)							
	電気機器事業	産業機器事業	空調配管事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	28,758	5,765	9,230	54	43,809	—	43,809
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	77	179	756	58	1,072	△1,072	—
計	28,836	5,945	9,987	112	44,881	△1,072	43,809
営業費用	28,539	5,852	7,701	107	42,200	△993	41,207
営業利益	297	92	2,286	5	2,680	△79	2,601